

様式2（第4関係）

パブリック・コメント制度に基づく意見等募集に係る実施結果票

パブリック・コメントの実施状況	
案 件 名	新市立島田市民病院建設基本計画
案件概要	<p>市立島田市民病院は、地域の基幹病院として、質の高い医療を行い、市民の命と健康を守るための拠点として存続することが求められています。</p> <p>一方、少子高齢社会の進展、人口減少、社会保障費の増大、医療技術の高度化、より安全で快適な療養環境への要望等、近年、本院を取り巻く環境は大きく変化しています。このような状況の中で、地域医療の中核を担う本院の役割は、従来にも増して重要となっています。</p> <p>現病院は、昭和54年に現在地へ新築移転してから36年が経過し、耐震性の問題に加え、施設設備の老朽化が進行しています。さらに、施設の狭あい化、動線の複雑化、バリアフリー化への対応の遅れ、患者利便性の低下等、高度な医療を担うことを阻害する要因が生じており、新病院の建設事業を早期に進めることは喫緊の課題となっています。</p> <p>こうした状況を踏まえ、地域の中核を担う急性期病院として、将来にわたり市民の命と健康を守り、安全で安心な医療を安定的かつ継続的に提供していく新病院を再整備するため、基本計画を策定します。</p> <p>この度、この基本計画を策定するにあたり、「新市立島田市民病院建設基本計画（案）」を作成しましたので、これを公表し、この計画案に対する市民の意見を募集します。</p>
募集期間	平成27年8月26日（水）から平成27年9月25日（金）まで
担 当 課	病院事務部 病院建設推進課 建設推進グループ

パブリック・コメントの結果	
提出状況	1 意見提出者数 8人（個人5、団体3）
	2 提出された意見数 31件
反映状況	1 反映した意見 4件
	2 既に盛り込み済みの意見 5件
	3 今後の検討課題とする意見 16件
	4 反映できない意見 2件
	5 その他 4件

パブリックコメントの意見集計				
項目	No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
病床機能・規模				
	1	運用後は適正数の療養病床を確保してほしい。	<p>新病院では療養病床を整備しない方針としました。</p> <p>その主な理由は、第一に、市民病院の療養病床は、一部の長期入院者を除いて、多くの方が「施設待ち」の患者さんで占められており、長期入院を必要とする本来の療養病床とは異なる運用をしている点にあります。</p> <p>第二に、国は2025年（平成37年）を目標に医療機能の分化を進める方針を示しており、市民病院も急性期医療に重点をおくよう方向性を明確にしていく必要があります。このような国の方針が診療報酬に反映されていくことを考えますと、一般病床と療養病床を併設するケアミックス型の病院を維持していくことは、経営的にも困難が予想されます。</p> <p>第三に、医師を確保するうえでも、今後、急性期病院としての位置づけを明確にすることが重要であると判断しました。</p> <p>今後は、市として在宅医療の強化と地域包括ケアシステムの整備に努め、療養病床の補完を図る考えです。</p> <p>また、新病院建設後の本館・東館については、療養病床としての再利用等を行わず、解体後の跡地は駐車場として整備する計画です。</p>	4 反映できない意見
	2	「病床数については、今後、静岡県が策定する地域医療構想により変更が生ずる場合もあります。」（骨子p2.（5）病床機能及び規模）とあるが、平成32年開院に向け計画・実行をめざしているのに、法律上平成30年3月までに策定される地域医療構想に左右される計画であってはならない。市として、必要なものは建設する信念を持って行動すべきである。	<p>静岡県では、地域医療構想を今年度中に策定することを目指しています。この中で2025年（平成37年）に向けた必要病床数が示され、これを実現するために医療機関の自主的な取り組みや医療機関相互の協議を行うこととされています。このため病床数については、県や関係機関との調整を図りながら最終的に決定していきます。</p>	4 反映できない意見

パブリックコメントの意見集計				
項目	No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
	3	「療養病床は整備しない方針。市として、在宅医療の強化と地域包括ケアシステムの整備に努め、療養病床の補完を図る。さらに、患者の受け入れに関して、療養病床を持つ圏域内の医療機関等と本院との間に協力関係を結ぶなど、新病院開院までに具体的な代替機能を整備できるよう努めるとしている。」（骨子 p2. <療養病床>）はいずれも努力目標であり、新病院開院までに間に合うかは保証されていない。結果的に間に合いませんでしたでは許されない。「在宅医療の強化」「地域包括ケアシステムの整備」「療養病床を持つ圏域内の医療機関等と本院との間に協力関係を結ぶ」について、誰が、いつまでに、何をどうするなど、5W1Hで実施計画書を示すべきである。	在宅医療の強化については、現在の市の訪問看護ステーションと市立島田市民病院の訪問看護系の体制を再構築し、24時間体制の訪問看護ステーションを平成28年度の早期に開設していくよう準備を進めています。 地域包括ケアシステムについては、国の方針に基づき、2025年問題への対応を考慮しながら、関係機関との連携の中で市が主導しつつ、整備を推進していく考えです。 療養病床を持つ他の医療機関との協力関係については、急性期を脱した患者の退院先としてすでに連携を図っておりますが、より円滑に患者受け入れができるよう、関係強化を図る考えです。なお、それぞれについて実施計画書を示す予定はありません。	5 その他
	4	医師不在で現在休床中となっていて、精神病床は整備しない方針で、今後は、急性期病院と精神科専門病院間の連携を密にし、診療協力を行うなど治療に支障が出ないように努めますとしている（骨子 p2. <精神病床>）。医師不在となったときには、すでに近隣市町、関係医療機関と話を進め、整備しないことを決定する前に、公表すべきと考えます。	現在も医師不在により精神病床を休止していますが、休止の際には近隣市町や関係機関と協議しており、精神疾患の外来診療や救急搬送についても協力して対応しています。また、今回の方針についても、関係機関と協議を行っています。特に精神科の救急搬送については、志太榛原地域救急医療体制協議会において精神科医師を交えて対応を検討する予定です。	5 その他
医療環境の変化への対応				
	5	志太榛原地域の医療環境の今後も考慮し、中心医療機関として変化に対応できる施設整備を希望します。	将来の医療環境の変化に柔軟に対応できるよう、設計上の配慮をしていくことを考えています。	2 既に盛り込み済みの意見 p66

パブリックコメントの意見集計

項目	No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
建物配置計画				
	6	<p>病院敷地内に、「地元の暮らしに密着した公道」があったという事実を、無視しないでください。</p> <p>(病院敷地内の歩行者通路と駐車場内の南北道路を設置した)経緯が忘却され、今回の新病院建設計画の中に全く継承されていないことには違和感があり、その配慮不足に対しては、少なからず無念と落胆を禁じ得ないものがあります。</p> <p>病院は工場構内と違って、敷地内立ち入り禁止にならないのだから、建造物の外側を迂回すれば、住人の通り抜けも可能だという考え方はもちろんあるでしょう。しかしその方便と、南北を通り抜けできる専用道路(通路)とは、目的と理念が全く異なります。</p> <p>したがって、どんな形であれ、どんな位置(配置)であれ、どんな構造であれ、新病院の敷地内に、住民が生活や作業のために行き来できる、「南北通り抜け道路(通路)の新設」を、強く要望するものであります。</p>	敷地内にある南北通り抜け通路や駐車場間の南北道路については、新病院の建物敷地内となる予定です。今後、現在の利用状況や建物配置計画を踏まえ、代替の道路の必要性について検討します。	3 今後の検討課題とする意見
	7	新病院建設基本計画(案)による、建設用地内にある南北を連絡する生活道路が無くなりますので、具体的対策を本計画に組み込んで頂きたい。		
	8	東側駐車場内にある南北の道路について。地区住民より、現在、東側駐車場内にある南北の道路を無くしてもらっては困るとの意見がでています。病院が出来る前は生活道路でした。それが、病院建設と共に現在の駐車場内に移動しただけのことです。無くしては困ります。建設当時の資料に目を通して頂きたい。		
	9	周辺住宅への日照障害やプライバシー保護についてのアセスメントを十分に行い、建設計画の中に配慮・対策を盛り込んで頂きたい。	建築基準法に基づく日影規制を遵守すると共に、限られた敷地条件の中で、近接する住宅への視覚的配慮を検討します。	3 今後の検討課題とする意見

パブリックコメントの意見集計				
項目	No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
ヘリポート整備				
	10	ヘリポート運用時の騒音等について、地域住民への説明をしてほしい。	ヘリポート整備も含め、今後、地元の皆さんへ説明を行っていきたいと考えます。	2 既に盛り込み済みの意見 p77
	11	新病院の屋上階にヘリポートを設置する方針としていますが（骨子 p3. <ヘリポート整備>）、（5）断面構成イメージでは7階～8階建ての上に設置されるようになる。災害時には機能するか疑問である。5～6階建てにとどめるべきではないか。また、屋上階から1階までの直通エレベーターの設置はどのように考えているか。1基か複数基か、救急病棟との最短ルートは考えられているか。	救急部門は、新病院の建物内に設け、屋上に設置するヘリポート及び手術部門と直結する計画です。また、専用エレベーターの台数や仕様は、災害時のことも考慮し、設計段階で検討します。 階数についても、設計段階で検討しますが、限られた敷地条件の中で必要機能を確保していくためには、7～8階建てとなることが想定されます。	3 今後の検討課題とする意見
駐車場整備				
	12	工事期間中の代替駐車場や、運用開始後の駐車場の利便性を確保されたい。 駐車場について、将来の駐車場不足に備えて立体化も考えてほしい。	駐車場の立体化については、用途地域における土地利用上の制限がありますが、利便性、経済性、効率性などの観点も踏まえ、実現の可否について検討を始めています。また、建設中の代替駐車場については、中央公園駐車場など近隣公共施設の駐車場や、近隣遊休農地の借り上げ等の対応も想定しています。	1 反映した意見 p75 p128
	13	建設が始まった場合、駐車場はどうするのか。私見だが、ローズアリーナの駐車場及びローズアリーナに行く途中のバイパスと山に囲まれた駐車場などを臨時駐車場として使用出来たらと考えるしだいです。病院までは少し距離があるがマイクロバス等で補うことは十分に可能です。駐車場をせめて二階建てにできないものか、ご一考を。		
	14	基本計画案では駐車場は現在と変わらず平地であるが、他の病院を見ると、立体駐車場で連絡通路もあるようなところもある。現在、雨天時に駐車場から病院に入るまでにかかなり濡れてしまい不便である。計画の中に立体駐車場及び連絡通路を入れていただきたく思います。		
	15	駐車場を足の不自由な方、お子さんをお持ちの方の為に立体駐車場にして雨の日でも濡れずに院内に入れるようにしてほしいのです。病院ではないけど島田のアピタや藤枝のBIVIのように立体駐車場から建物には入れるイメージです。車を沢山とめられるし良いと思うのです。是非よろしくおねがいします！		

パブリックコメントの意見集計				
項目	No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
部門計画				
	16	大規模病院ではあっても住民が受診しやすい造りにしてほしい。	誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの考え方に基づいたサイン計画・内装デザインの採用や、エレベーターや階段の効果的な配置、段差の解消など、年齢や障害の有無にかかわらず、すべての患者にとって利用しやすい施設計画とします。 また、外来・診察室等の各診療部門をわかりやすく配置し、利用しやすい部門配置計画とします。	2 既に盛り込み済みの意見 p65
	17	病院の中にコンビニエンスストアを置いてほしい。	設計段階において、新病院建物内または敷地内に設ける方向で検討します。	3 今後の検討課題とする意見
医療機器整備・人員計画				
	18	地域の中核病院として先端医療機器を導入し、医療スタッフの充実に努め、地域住民が安心して高度医療を受けられる体制整備をお願いします。	医療機器については、急性期医療を担う地域の基幹病院として、現在の医療水準を維持するとともに、高度化する医療技術に対応できる機器を計画的に導入します。 また、医療スタッフについても医師の確保に努め、機能に応じた人員配置を図る考えです。	2 既に盛り込み済みの意見 p113 p121
	19	地域医療支援病院に望まれる先端医療機器を導入し、利用者が高度医療を受けられる体制を整えて頂きたい。		

パブリックコメントの意見集計				
項目	No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
周辺排水路整備				
	20	現在の市民病院敷地の東側道路（野田インター～高橋）に沿った水路が、水捌けが悪く大雨により溢流しやすい。当該水路の下流にある大津谷川への水門のレイアウトのためか、大津谷川からの水が逆流することもある。新市民病院が、計画上の位置に建設されると、調整池がない状態となるため現状よりもさらに増水して水害が起きやすくなるのが危惧される。現状の水門の位置や向きを変更する等の周辺工事を行い、水捌けを改善する策を講じて頂きたい。	現在の病院建物東側の駐車場は、病院敷地に降った雨水の調整池としての機能を有していることから、新病院建設にあたって必要な調整池の機能を持たせた整備をしていきます。 また、水門操作については、管理者の土木管理課と地元で調整を図っていきます。	3 今後の検討課題とする意見
	21	水について。現在、市民病院東側の駐車場が遊水地の役目をはたしているにも関わらず、病院交差点から大津谷川高橋付近までは冠水し易い場所となっており、その駐車場が無くなればさらなる冠水が心配されることとなります。確かに、大津谷川への水門、放水路への水門と2か所水門がありますが、水門管理人も四六時中、近くに居るとは限らず、昨今の局地的豪雨等を思えば、万が一の可能性もあり、責任問題に発展しかねない状況が考えられます。それを避ける為にも、水門に雨量計を取り付け、一定の雨量に達した場合は自動的に水門が開閉するような装置を考えて頂く事を切に願います。		
	22	現病院の敷地も含め周辺一帯は冠水しやすい場所でありませず。新病院建設に際しては排水・治水について十分検討し本計画に組み込んで頂きたい。	この地区の排水については、「島田市公共下水道事業計画」に基づいて継続的に整備を行っており、整備は既に完了しています。 しかし、大雨等の洪水で水路や道路の浸水が一部で見受けられるため、浸水等の原因を再調査していきます。 なお、新病院の建設では、敷地内からの雨水対策として調整池機能を持たせた整備をするため、既存水路に今以上の負荷をかけることはないと考えています。	3 今後の検討課題とする意見
	23	新市立島田市民病院の建設予定地が現在の東側駐車場であることから、隣接する東野田地区の治水環境には今以上の配慮を頂き、洪水のない環境となるよう建設していただきたい。		

パブリックコメントの意見集計				
項目	No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
周辺道路整備				
	24	新病院の位置関係から病院への進入ルート、駐車場の整備等周辺アクセス道路の渋滞緩和と安全対策に十分な配慮をお願いします。	県道伊久美元島田線の渋滞緩和については、道路管理者である静岡県と協議を行っていきます。	3 今後の検討課題とする意見
	25	現状でも大草地区に工場や住宅が建てられたことにより病院周辺の交通量が増えており、駐車場が県道に面する新病院周辺の交通事情は大きく変化すると考えられる。特に鶴田寺前交差点付近での渋滞を緩和する策を講じて頂きたい。		
	26	交通に関しては、バイパス方面からの車は、現在の自転車置き場辺りから、新駐車場に進入できる通路を建設したらどうか。逆方向からの車に関しては右折ラインを強く希望するしだいです。		
工事対策				
	27	工事期間中の騒音、振動、粉じん、工事車両の交通、児童生徒の通学の交通安全等に対する対策を講じて頂きたい。	今後、工事中の安全対策及び環境対策については、基本設計以降の各段階で具体的に検討します。	3 今後の検討課題とする意見
	28	工事期間中、工事車両の通行時間帯を限定してほしい。		

パブリックコメントの意見集計				
項目	No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
その他				
	29	地元2町内会の要望・意見書の内容を御理解頂き、両町内会はもとより大津地区関連町内会との摺り合わせを手落ちのないようお願い致します。	新病院建設事業を進めるにあたり、地元住民の皆さんのご理解、ご支援をいただけるよう、丁寧な説明と対応に努めます。	5 その他
	30	周辺の住宅等での電波障害対策を講じてほしい。	設計段階において、建物形状を決定した後にテレビ電波受信障害調査を実施し、必要な対策を行います。	3 今後の検討課題とする意見
	31	新病院開院まで、基本構想から建設工事まで5ステップある中で（骨子p1. 2 新病院開院までの流れ）、基本構想は新市立島田市民病院建設基本構想策定業務を株式会社システム環境研究所に、基本計画は新市立島田市民病院建設基本計画策定支援業務を株式会社病院システムに委託した。業務委託先は、基本構想、基本計画とも一括でやった方が品質・コスト・納期面で、効率的であったと考える。	基本構想と基本計画では、プロポーザル方式により複数の業者から提案書、業務実施体制、業務工程表などを提出させ、適正な選考の下に業者を選定したと考えます。	5 その他